

Takara standard

Sanity
サニティ

Wit
ウィット

ELICIO R
エリシオR

設置説明書

洗面化粧台



もくじ

1. 安全上のご注意	2
2. 設置上のご注意	3
3. 組立配管図	3~4
4. 設置手順	5~8
5. 点検・仕上げ	8
6. お願い事項	8

- この説明書は、設置上のご注意と手順を記載しています。設置前に必ずお読みの上、正しく設置していただくようお願いいたします。
- 設置後は、この説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない場合は、わかりやすい場所に納めておいてください。

- 水栓の水量調整及び器具の点検を容易にするため、必ず止水栓をご使用ください。
- 給排水工事は、必ず水道局指定工事店に依頼してください。
- 設置完了後、各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。
- 本商品の設置が終了しましても、他の作業が残っている場合は万一の場合にそなえ、商品に布などをかぶせて保護してください。
- 梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いいたします。

1.安全上のご注意

必ずお守りください

- ・設置作業の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- ・表示内容を見逃して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。

⚠ 警告

この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

・お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。



必ず実行

このような図記号は、必ず実行していた
だく「強制」の内容です。



禁止

このような図記号は、してはいけない
「禁止」の内容です。



警告



必ず実行

- キャビネットの壁への固定は、壁の構造を確認して設置手順にしたがって正しく行う
固定方法を誤ると使用中に下台が転倒したり、位置がずれて給排水管から水漏れするおそれがあります。



必ず実行

- 水道工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者」が行う
接続や固定が不完全な場合は、水漏れの原因になります。



注意



必ず実行

- 組み込まれる水栓などについては、それぞれの設置説明書及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置する
設置を誤ると思わぬ事故や故障の原因になります。
- 引出しに収納する物は、収納物の高さに注意する
収納物が排水器具やボウルと接触し、水漏れ破損などの原因になります。
- ストラップと排水管との接続は、設置手順にしたがってスキマのないように正しく行う
接続部にスキマがあると、不快な臭いやカビの発生原因になることがあります。
- 設置後、排水栓を閉栓した状態で吐水を全開にして水がボウル面からあふれそうな場合は止水栓を絞って流量調整する
水があふれることで拡大損害につながるおそれがあります。



必ず実行

- 排水パイプの接続は、設置手順にしたがって正しく行う
接続に不備があった場合、使用中に水漏れが発生し、キャビネットの中や床を汚すおそれがあります。
- 扉や引出表板を調整する時は手回しドライバーを使用する
ネジがはずれて扉や引出表板が落下するおそれがあります。
- 設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する
扉の取付けに異常があると、使用中に扉が落下してケガをするおそれがあります。



禁止

- ストラップをU字型に曲げたり、折り曲げて取付けない
使用中に排水パイプがつまり、ボウルから水があふれて床を汚すおそれがあります。

快適にご使用いただくためにお守りください

- 直射日光や殺菌灯があたる場所、高温になる場所への設置は避ける
プラスチック部品や塗装部品が変色するおそれがあります。
- 設置する時にカウンターやボウルに載らない
ボウルが割れたりキズがつくおそれがあります。

- 工具類等をキャビネットに落としたり当てたりしない
キズがついたり欠けたりするおそれがあります。
- 浴室等湿気の多い場所への設置は避ける
製品が早く傷むおそれがあります。

2.設置上のご注意

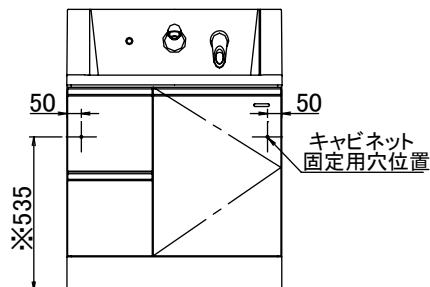
設置前のご確認

- ・取付用桟木が、壁面の指定位置に設置されていることを確認してください。(下台壁面固定位置図参照)
- ・屋内側の給排水管が所定の位置に設置されているか確認してください。(給排水位置図参照)

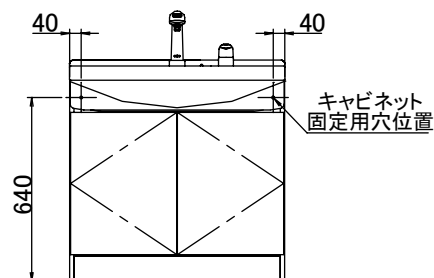
3.組立配管図

- 下台壁面固定位置 注)図はカウンター高さ75cmの場合の寸法です。
カウンター高さ80cmの場合、※印の寸法は+50mmとなります。

<人造大理石タイプ>

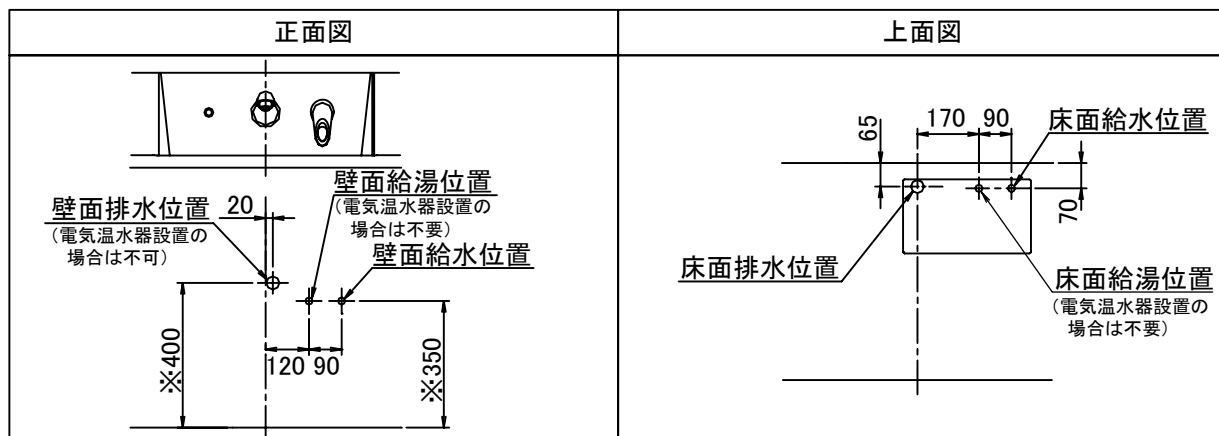


<ホーローボウルタイプ>



- 給排水位置 注)図はカウンター高さ75cmの場合の寸法です。
カウンター高さ80cmの場合、※印の寸法は+50mmとなります。

<人造大理石タイプ>



<ホーローボウルタイプ>

※エリシオRの場合は[]内の寸法になります。

間口	水栓	正面図	上面図
75cm	洗髪シャワータイプ		

<ホーローボウルタイプ>

※エリシオRの場合は[]内の寸法になります。

間口	水栓	正面図	上面図
75cm	洗面タイプ(奥行き60cm)	壁面給湯位置 (電気温水器設置の場合は不要) (単水栓の場合は不要) 壁面給水位置 壁面排水位置 (電気温水器設置の場合は不可) 102 485 365 335 220	床面給湯位置 (電気温水器設置の場合は不要) (単水栓の場合は不要) 床面給水位置 床面排水位置 205 35 102 160 42.5 267.5 310 130 160
	洗髪タイプ(奥行き50cm)	壁面給湯位置 (電気温水器設置の場合は不要) 壁面給水位置 壁面排水位置 (電気温水器設置の場合は不可) 170 90 380 365 90 360	床面排水位置 床面給水位置 床面給湯位置 (電気温水器設置の場合は不要) 150 90 160 42.5 267.5 310 90 125
	洗面タイプ(奥行き50cm)	壁面給湯位置 (電気温水器設置の場合は不要) 壁面給水位置 壁面排水位置 (電気温水器設置の場合は不可) 52.5 150 485 380 365 125 360	床面給湯位置 (電気温水器設置の場合は不要) 床面給水位置 床面排水位置 60 150 160 42.5 267.5 310 125 130 140
60cm	洗髪シャワータイプ	壁面給湯位置 (電気温水器設置の場合は不要) 壁面給水位置 壁面排水位置 (電気温水器設置の場合は不可) 110 90 380 365 330 350	床面給湯位置 (電気温水器設置の場合は不要) 床面給水位置 床面排水位置 90 102 160 42.5 225 310 130
	洗面タイプ	壁面給湯位置 (電気温水器設置の場合は不要) (単水栓の場合は不要) 壁面給水位置 壁面排水位置 (電気温水器設置の場合は不可) 102 490 380 365	床面給湯位置 (電気温水器設置の場合は不要) (単水栓の場合は不要) 床面給水位置 床面排水位置 102 160 140 42.5 225 310 80

4.設置手順

<洗面化粧台の設置順序>

洗面化粧台の設置は下記の順序にしたがってください。

●人造大理石タイプの場合

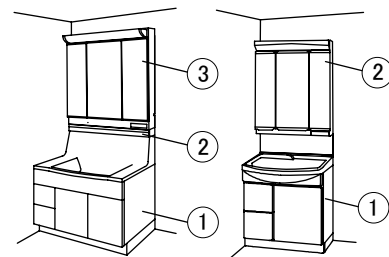
①洗面下台 → (②スライドトレイ) → ③ミラーキャビネット

●ホーローボウルタイプの場合

①洗面下台 → ②ミラーキャビネット

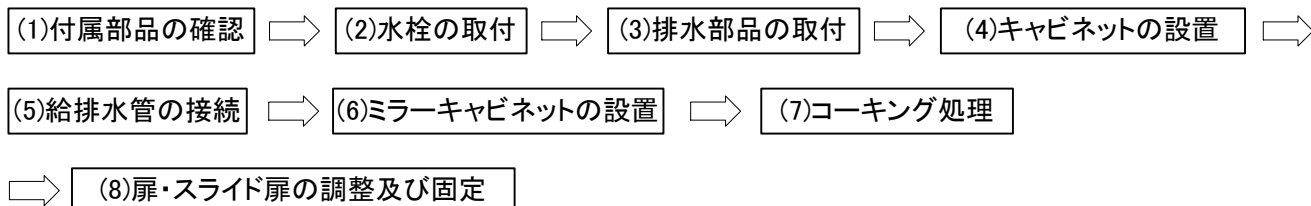
※スライドトレイはオプションです。

※ミラーキャビネット・スライドトレイの設置は、それぞれに
付属している設置説明書にしたがってください。



下記の手順にしたがって設置作業を進めてください。

※印はオプション部材の設置です。



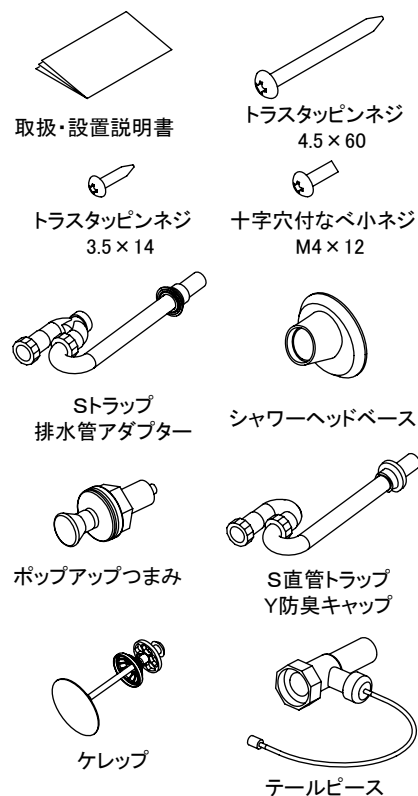
(1)付属部品の確認

・付属部品が揃っているか確認してください。

本書に記載以外の商品については、それぞれに付属している設置説明書に基づいて確認してください。

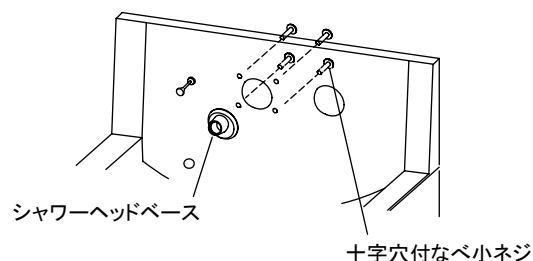
○人造大理石タイプ

小物セット	取扱・設置説明書	1部
	トラスタッピンネジ 4.5×60	2本
	トラスタッピンネジ 3.5×14	6本
	十字穴付なべ小ネジ M4×12	4本
同梱部品 (サニティの場合)	Sトラップ	1個
	排水管アダプター	1個
	シャワーヘッドベース	1個
	ポップアップつまみ	1個
	ケレップ	1個
同梱部品 (エリシオRの場合)	テールピース	1個
	S直管トラップ	1個
	Y防臭キャップ	1個
	シャワーヘッドベース	1個
	ポップアップつまみ	1個
	ケレップ	1個
	テールピース	1個



○ホーローボウルタイプ

小物セット	取扱・設置説明書	1部
	トラスタッピンネジ 4.5×60	2本
	トラスタッピンネジ 3.5×14	6本
同梱部品 (ウィットの場合)	Sトラップ	1個
	排水管アダプター	1個
同梱部品 (エリシオRの場合)	S直管トラップ	1個
	Y防臭キャップ	1個



(2)水栓の取付

①<人造大理石タイプの場合>

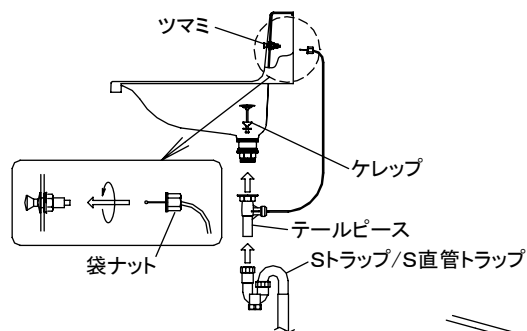
シャワーヘッドベースを十字穴付なべ小ネジ4本でカウンターに確実に取付けてください。

②水栓付属の説明書にしたがって、水栓を取付けてください。

(3)排水部品の取付

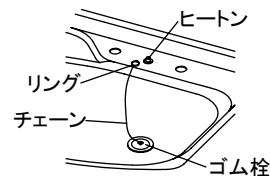
＜人造大理石タイプの場合＞

- ①テールピースを取付けてください。
- ②ツマミを取付けてください。
- ③テールピースとツマミを接続してください。
- ④ストラップ、又はS直管トラップを取付けてください。
- ⑤ケレップを取付けてください。



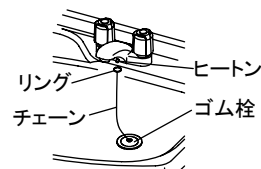
＜ホーローボウル(洗髪シャワー)タイプの場合＞

- ①ヒートンにゴム栓のリングを接続してください。
- ②ストラップ、又はS直管トラップを取付けてください。



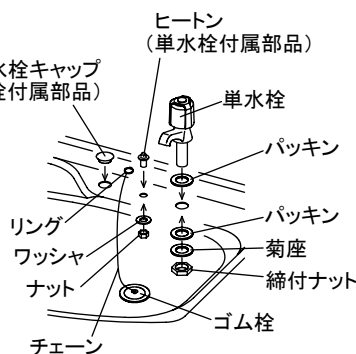
＜ホーローボウル(洗面シャワー)タイプの場合＞

- ①水栓のヒートンにゴム栓のリングを接続してください。
- ②ストラップ、又はS直管トラップを取付けてください。



＜ホーローボウル(単水栓)タイプの場合＞

- ①ヒートンにゴム栓のリングを接続してください。(単水栓付属部品)
- ②ヒートンをボウルに取付けてください。
- ③水栓キャップにシリコン(クリア)を全周に塗布して、ボウルに取付けてください。
- ④ストラップを取付けてください。

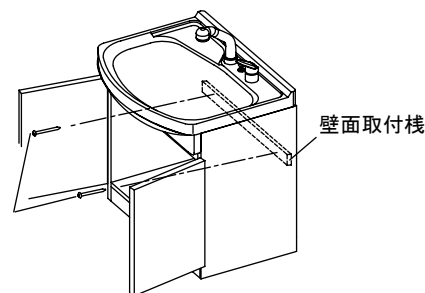


(4)キャビネットの設置

- ①キャビネットを所定の位置に設置してください。

ご注意: 床が水平でない場合、すき間に詰め物をしてガタつきのないように水平に設置してください。

- ②キャビネット内部より、壁面にネジで固定してください。



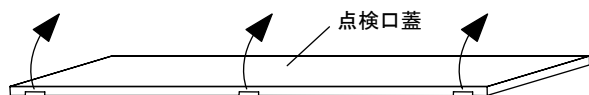
(5)給排水管の接続

- ①下記にしたがって点検口蓋を取りはずしてください。

・底板点検口蓋

＜樹脂製の点検口蓋の場合＞

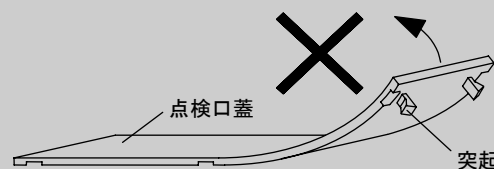
- ・手前側の凹み3箇所を部分を持ち上げ、底板点検口蓋を取りはずしてください。



＜ネジ止めの点検口蓋の場合＞

- ・底板点検口蓋を止めているネジをはずして、取りはずしてください。

ご注意: 下図のように指示と異なる方法で無理にはずさないでください。突起が折れる可能性があります。



- ②現場の配管位置に合わせて、点検口蓋に穴(給水管、給湯管、排水管用)をあけてください。

- ③給水管・給湯管を接続してください。

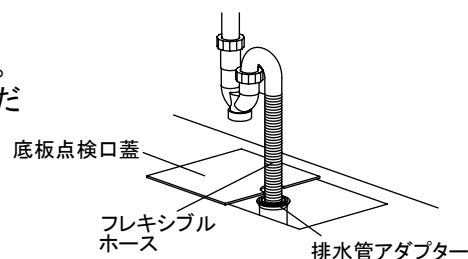
- 1、点検口蓋にあけた穴に給水管、給湯管を通して、止水栓を取付けてください。
- 2、水栓付属の説明書にしたがって配管工事を行ってください。

④排水管を接続してください。

壁排水の場合はP管(別売部品)が必要です。手配もれがないことを確認してください。

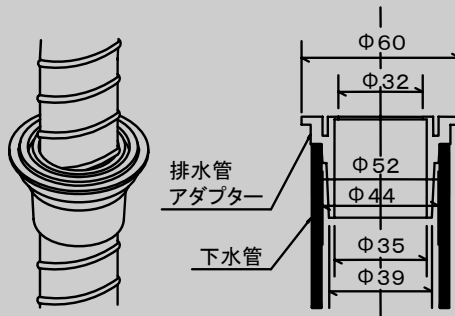
・床排水(フレキシブルホース)の場合

- 1、底板点検口蓋の穴にストラップのフレキシブルホース部を通してください。
- 2、フレキシブルホースの先端に排水管アダプターを通し、排水管に差込んだ後に隙間のないように完全にシールしてください。
- 3、底板点検口蓋を元の箇所に取付けてください。



ご注意: ・排水管アダプターは、内径40、44、51の3種類の排水管に接続できます。
すき間ができると臭気や湿気が漏れるおそれがありますので、完全にシールしてください。

- ・U管、P管の袋ナットは、パイプレンチ等を使用して締めすぎないでください。
袋ナットが破損するおそれがあります。
- ・U管接続用の台形パッキンは、向きを逆にしたり、歪んだ状態で締め付けしないでください。
水漏れの原因になります。

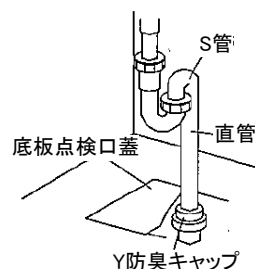


ご注意: ・パッキンの取付位置を間違えたり、ねじれた状態で接続しないでください。
水漏れ原因となります。

- ・金属製のナット類は、十分締め付けてください。
締め付け不足の場合、水漏れの原因になります。

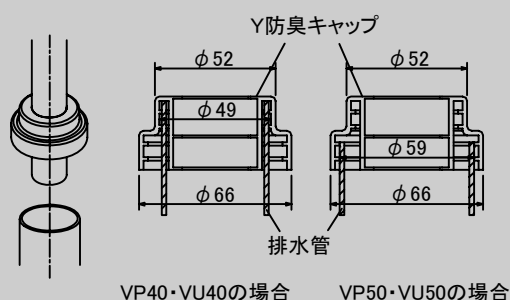
・床排水(直管タイプ)の場合

- 1、底板点検口蓋の穴にS管の直管部を通してください。
- 2、S管直管部の先端にY防臭キャップを通し、排水管に差込んだ後に隙間のないように完全にシールしてください。
- 3、底板点検口蓋を元の箇所に取付けてください。



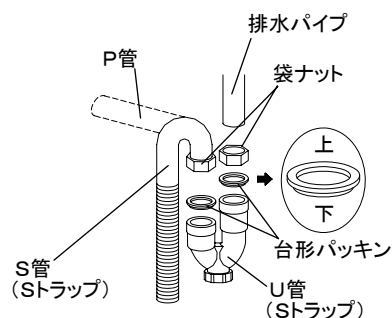
ご注意: ・Y防臭キャップは、VP40、VU40、VP50、VU50の4種類の排水管に接続できます。

- ・Y防臭キャップは、排水管にしっかり差し込んでください。
すき間ができると臭気や湿気が漏れるおそれがあります。
- ・袋ナットは、パイプレンチ等を使用して締めすぎないでください。
袋ナットが破損するおそれがあります。
- ・U管接続用の台形パッキンは、向きを逆にしたり、歪んだ状態で締め付けしないでください。
水漏れの原因になります。



・壁排水の場合

- 1、後板点検口蓋にあけた穴にP管を通してください。
- 2、建物側の排水管にP管を差し込んだ後、P管とストラップのU管を確実に接続してください。
- 3、P管と建物側の排水管を水漏れのないように注意して接続してください。
- 4、底板点検口蓋と後板点検口蓋を各々の箇所に取付けてください。



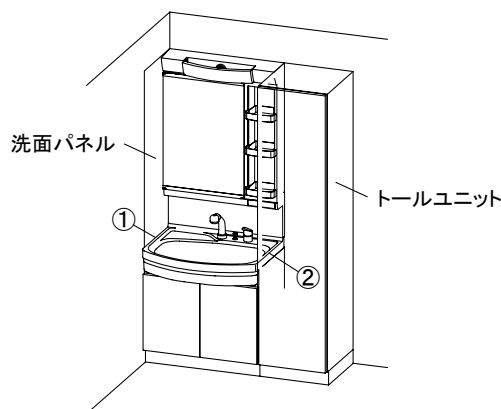
(6)ミラーキャビネットの設置

・ミラーキャビネット付属の説明書にしたがって、ミラーキャビネットを設置してください。

(7)コーキング処理

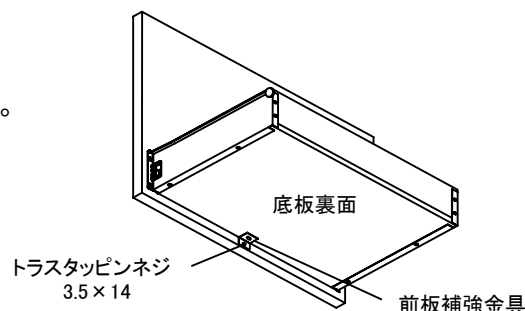
・洗面下台に続いてミラーキャビネット、ウォールキャビネット、トールユニット等の設置が完了しましたら、外観向上および防水処理のため、次の箇所をシリコン剤(白)でコーキング処理を行ってください。

- ①ボウルと洗面パネルの間の目地
- ②ボウルとトールユニットの間の目地



(8)扉・スライド扉の調整及び固定

・扉に段違いや丁番のゆるみによるガタツキがないことを確認してください。
不備がある場合は、「取扱説明書 調整方法(P6,7)」
にしたがって調整してください。



5.点検・仕上げ

●安全点検

- ・取付部材がしっかり固定されているかを確認してください。
- ・水栓の取扱説明書にしたがって、配管内のゴミや油分を十分に洗い流してください。
また、サーモスタット付シャワー水栓の場合は止水栓の上にあるストレーナーの清掃も行ってください。
- ・2段スライドタイプの場合、スライド扉と配管が干渉していないことを確認してください。
- ・配管接続部に水漏れがないことを確認してください。

●仕上げ

- ・設置時に商品が汚れた場合は、水を含ませて固くしぼった布で軽くふいてください。その後、乾いた布でふき取ってください。
- ・落ちにくい汚れの場合は、薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れを落としてください。
その後、水を含ませて固くしぼった布、または水をよく切ったスポンジで洗剤をふき取り、最後に乾いた布でふき取ってください。

ご注意：溶剤・酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤は使用しないでください。商品をいためるおそれがあります。



6.お願い事項

●商品の養生

すべての作業が完了しましたら、カウンターおよびキャビネットを保護養生してください。

●取扱説明書の保管・引渡し

洗面化粧台および組込機器等の取扱説明書・保証書はとりまとめて製品内部に収納し、お引き渡しの際に不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

●梱包材その他の工事部材の処理

梱包資材等の不要部材は法令にしたがって適正な処理をお願いします。

10155572

3D-1

設置説明書WV(1)